

東三河振興ビジョン【将来ビジョン】の概要

I 将来ビジョンとは

- <策定趣旨> 東三河の目指す地域の姿（10年後の将来像）や、その実現に向けて重点的に取り組むべき施策の方向性を明らかにする「東三河の地域づくりの羅針盤」
- <策定主体> 東三河ビジョン協議会（県、東三河の8市町村、経済団体、大学等で構成）
- <目標年次> 平成35年（2023年）
- <対象地域> 東三河の8市町村

II 地域づくりの基本理念

地域が一体となって自立した東三河をつくる

今後、さらに東三河の持続可能な発展を図っていくため、県、市町村、経済団体、大学、NPO、住民等の地域づくりの各主体が、それぞれの役割と責任を果たしつつ、一体となって自立した地域づくりを進め、未来へとつないでいきます。

III 目指す地域の姿（将来像）

豊かさが実感できる 輝く「ほの国」東三河

この地域には、古代、豊川の流域、三河湾の海、奥三河の山々などの豊かな恵みを受けた「穂の国」が存在したと言われ、「ほの国」という名称が、この地域を表す言葉として広がりつつあります。

こうしたことを背景に、本ビジョンにおいては、豊かな自然や歴史、文化に恵まれ、素朴で飽きることのない、心安らぐ「ほっと」できる場所であるなど、「ほ」に様々な意味合いを込めて、ひらがなで表記する「ほの国」を、皆が心を一つにして地域づくりを展開していくためのキーワードとして掲げます。

そして、バランスの取れた産業構造、国際的な自動車港湾・三河港など、これまで築いてきた優れた地域資源を活かしながら、新たな魅力や価値を創造・発信するなど、全国においても輝きを放つような、「誇り」ある、「活力」あふれる、「希望」に満ちた、豊かさが実感できる地域を目指します。

【誇り】「ほの国」の魅力が輝く、誇りある地域

【活力】次代をリードする、力強い産業が展開する地域

【希望】誰もが希望を持って活動し、自分らしさが実現できる地域

IV 重点的な施策の方向性

1 東三河の魅力の創造・発信 ～地域内外に誇りうる魅力ある地域づくり～

【主な取組】①広域観光エリアとしての魅力の向上・発信 ②にぎわいを生む都市の魅力づくり ③奥三河の交流居住の推進 ④県境を越えた広域交流の拡大 ⑤伝統文化の継承・発信

2 豊かな自然の保全・再生 ～人と豊かな自然が共生する地域づくり～

【主な取組】①生物多様性の保全 ②地域ぐるみの鳥獣害対策の推進 ③自然とふれあう場の充実・活用 ④三河湾の環境再生 ⑤沿岸域等の環境再生

3 地域産業の革新展開 ～力強い産業が展開する地域づくり～

【主な取組】①次世代産業等の育成・振興 ②戦略的な産業立地の推進 ③産業を支える人材の育成・確保と起業支援 ④先駆的モデルとなる農業振興 ⑤持続力ある林業の振興 ⑥活力ある水産業の振興

4 安心・安全な地域づくり ～安心して安全に生活できる地域づくり～

【主な取組】①防災・減災対策の推進 ②地域医療連携の充実・強化 ③地域生活を支える介護サービス等の充実 ④交通安全・防犯対策の推進 ⑤奥三河の生活基盤の確保

5 誰もが活躍できる地域づくり ～誰もが希望を持って活躍できる地域づくり～

【主な取組】①地域に根ざした教育環境づくり ②雇用につながる人材育成の推進 ③女性・高齢者の能力活用 ④子育て支援の充実とサービスの多様化 ⑤地域活動やNPOの活性化 ⑥多文化共生社会づくり

6 地域を支える社会基盤の整備 ～地域の産業や暮らしを支える社会基盤の整備～

【主な取組】①広域交通基盤等の整備・強化 ②鉄道・バス路線等の公共交通の確保 ③世界と直結する三河港の機能強化 ④森林等の整備・保全と水資源の安定的・恒久的確保 ⑤再生可能エネルギーの導入拡大

7 地域力・連携力の発揮 ～愛知県、ひいては日本の発展の一翼を担う地域づくり～

【主な取組】①地域内連携の強化 ②豊川流域圏づくり ③三遠南信連携の推進

V 将来ビジョンの推進

- 「主要プロジェクト推進プラン」の策定・実施【毎年度、1～2テーマ選定】
- 各主体による重点的な施策の具体化推進【毎年度の予算編成や事業計画策定時に具体化】
- 進捗状況の点検・公表とさらなる推進
【毎年度、東三河ビジョン協議会で進捗状況を点検・公表し、新たな課題への対応等も協議】
- 将来ビジョンの見直し【東三河ビジョン協議会で協議し、柔軟に見直し】

<将来ビジョンの推進イメージ図>

「主要プロジェクト推進プラン」の策定・実施

各主体による重点的な施策の具体化推進

進捗状況の点検・公表とさらなる推進

将来像の実現